

概要

山川漁港は、海外まき網船による国内有数のカツオの陸揚拠点であり、鰹節の一大生産地である。年間284万人が訪れる、温泉で有名な観光地・指宿市にあるが、中心部の温泉街から6kmの距離にもかかわらず、漁港がある山川地区を訪れる人は年間76万人に過ぎない。地域では、水産業のほか、温暖な気候を利用した野菜、果物栽培も盛んであり、漁港を核として漁業体験を充実させ、海農産物の販売、食事提供、いずれは農業体験等との融合へつなげたい。水産業、農業、観光業と地域一体の海業に取り組み、温泉客等を当地区に呼び込み、かつ観光地・指宿の更なる集客力向上を目指す。



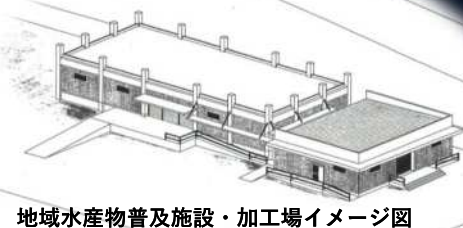
海業の取組概要



B:内港荷捌き所の一角
→海の広場へ



C:旧2冷蔵施設
→地域水産物普及施設と
加工場へコンバージョン



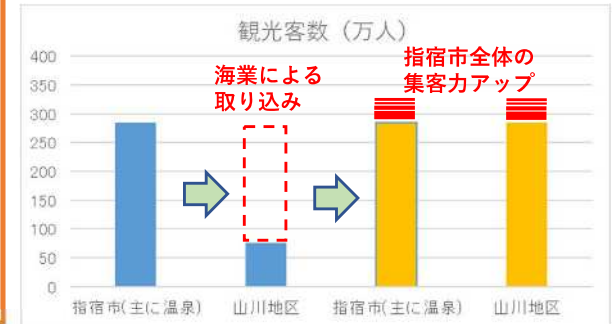
泊地等を海の
アクティビティ場へ



A:既設購買部他
→大型駐車場,トイレ



効果



海業により山川地区の観光客数が増加。相乗効果により温泉街の観光客数増加も期待

協力体制

山川町漁業協同組合、鹿児島県、指宿市、いぶすき観光デザインJAいぶすき、指宿観光&体験の会、山川水産業加工業協同組合など

スケジュール

- 令和6年度 漁業体験実証開始
- 令和7年度 観光プログラム作成
- 令和9年度 加工場オープン
- 令和10年度 地域水産物普及施設オープン
- 令和11年度 大型駐車場、トイレ整備
- 令和12年度 漁具倉庫の一部改修

国際クルーズ船

D:外港荷捌き所見学



E:冷蔵施設-50℃体験

